

生活・事業を支えるための支援一覧



支援制度 (個人向け) 支援制度 (事業者向け)

支援名	内容	問い合わせ
傷病手当金の支給 (国民健康保険・後期高齢者医療保険)	感染し、勤務ができなくなり給与を受けられなくなった人への手当金	健康づくり課(4月から介護医療連携課) ☎21-0258
住居確保給付金	住居を失うおそれのある人などへ家賃を支援	高梁市生活あんしんサポートセンター ☎22-9111
一時的な市営住宅の提供	感染症の影響による廃業・休業・解雇などで住居を失う、または失う恐れのある人へ、市営住宅を一時的に提供	都市整備課 ☎21-0237
市税の納税猶予	新型コロナウイルス感染症の影響で事業に著しい損失を受けるなど、一時的に市税などを納付することができない場合に納税を猶予	税務課 ☎21-0215
保険税・保険料の減免	国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料を減免	税務課 ☎21-0214 / 健康づくり課(4月から介護医療連携課) ☎(21)0258
年金保険料などの猶予	収入が減った人の国民年金の支払いを猶予	日本年金機構高梁年金事務所 ☎21-0570
緊急小口資金・総合支援資金	生活資金でお困りの人へ特例貸し付け	社会福祉協議会 ☎22-7243
持続化補助金	事業再開へ向けた投資をする小規模事業者へ最大150万円	高梁商工会議所 ☎22-2091 / 備北商工会 ☎42-2412
高梁市サテライトオフィス等整備事業費補助金	テレワークやオンライン会議など多様な働き方を可能にするサテライトオフィスを市内に整備する費用の補助	産業振興課 ☎21-0229
雇用調整助成金	雇用者の休業などに対する休業手当を助成	ハローワーク高梁 ☎22-2291
高梁市雇用安定助成金	雇用調整助成金の交付決定額の3%を市が追加助成	産業振興課 ☎21-0229
新型コロナウイルス感染症特別貸付／特別利子補給制度	運転資金や設備資金を実質無利子・無担保で融資するなど	日本政策金融公庫事業資金相談 ☎0120-154-505 / 中小企業融資・給付金相談窓口 ☎0570-783-183
セーフティネット保証4号(突発災害)・5号(業況悪化)・2条6項(危機関連)	運転資金や設備資金の融資認定	産業振興課 ☎21-0229

発熱や風邪の症状があるときは…「かかりつけ医」に相談！

風邪、インフルエンザ、そして新型コロナウイルス感染症の初期症状は、いずれも発熱や咳などです。こうした症状があるときは、職場や学校へは行かず、まずはかかりつけ医に相談しましょう。

発熱や咳などの症状が出た場合

かかりつけ医がない

県ウェブサイトを探す  
または  
受診相談センターに電話で相談



受診の際は、必ず電話予約をし、マスクを着用して、なるべく公共交通機関以外の方法で来院してください。また、付き添いはできるだけ少人数でお願いします。

かかりつけ医がいる

かかりつけ医に相談

かかりつけ医が、県の「診療・検査医療機関」でない場合は、紹介してもらえます。

新型コロナウイルス受診相談センター(備北保健所) ☎(21) 2836 平日午前9時～午後5時  
☎(22) 8098  
土・日曜日、祝休日の午前8時～午後6時は ☎086(226)7925 夜間は ☎086(226)7877 (受診案内のみ)  
☎086(226)7957 ☎086(225)7283

新型コロナワクチンについて知ってほしいこと

どんなワクチンでも、副反応が起こる可能性があります。

一般的なワクチン接種後には、ワクチンが免疫をつけるための反応を起こすため、接種部位の痛み、発熱、頭痛などの「副反応」が生じる可能性があります。治療を要したり、障がいを残したりするほどの副反応は極めてまれであるものの、ゼロではありません。(予防接種による健康被害は救済制度の対象です)

今回新たに承認されたワクチンの国内治験では、ワクチンを2回接種後に接種部位の痛みは約80%、37.5度以上の発熱が約33%、疲労・倦怠感が約60%の人に認められています。

ワクチンに含まれる成分に対する重度のアレルギー反応であるアナフィラキシーの発生頻度は、市販後米国で100万人に5人程度と報告されています。日本での接種では、ワクチン接種後15～30分経過を見て、万が一アナフィラキシーが起きても医療従事者が必要な対応を行います。

新型コロナワクチンの承認後も、継続的に安全性を確認します。

アナフィラキシーや医師が予防接種と関連を疑う重篤な症状が発生した場合は、法に基づき報告を受け、専門家が評価します。こうした報告の中には、ワクチン接種後の持病悪化・死亡のように、ワクチンとの因果関係が直ちに評価できない事例も含まれますが、幅広く収集し、評価を行うこととしています。

加えて、1～2万人の先行接種者を含め、延べ300万人の人について、ワクチン接種後の症状などの調査を予定しています。

このように、ワクチンの安全性を継続して確認し、安全性に関する情報を提供していきます。

ワクチンについて正しく知った上で、判断しましょう。

新型コロナワクチンを承認し、接種をお勧めするに当たって、国内外の数万人のデータから、発症予防効果などワクチン接種のメリットが、副反応というデメリットより大きいことを確認しています。国民の皆さんが納得して判断していただけるよう、国としても情報提供に努めていきます。

※この記事の内容は、今後見直される可能性があります。(令和3年2月19日・厚生労働省)

高梁市  
新型コロナワクチンコールセンター

☎0866-21-0211  
午前8時30分～午後5時  
(土・日曜日、祝休日を除く)

- 接種スケジュールや接種方法の問い合わせ対応
- 接種券再発行の対応
- 記録確認、接種券発送後の集団接種分の予約受付

岡山県  
新型コロナワクチン専門相談センター

☎0120-701-327  
午前9時～午後9時

- 医学的知見が必要となる専門的な問い合わせなどへの対応
- ☑接種前における副反応への不安や、接種後に腫れが引かない場合の受診相談、など

厚生労働省  
新型コロナワクチンコールセンター

☎0120-761-770  
午前9時～午後9時

- コロナワクチン施策の在り方などに関する問い合わせへの対応